

27. 男女共同参画について

(1) 家事・育児・介護それぞれに費やした時間

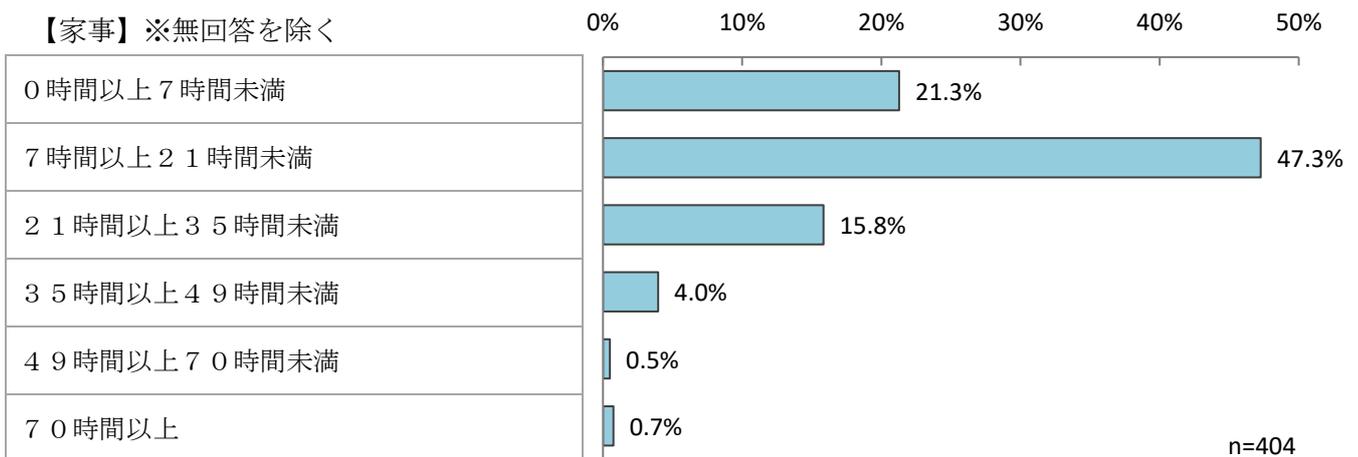
※月曜日から土曜日は1日3時間程度(3時間×6日=18時間)、日曜日は1日2時間程度(2時間×1日=2時間)を費やしている場合、回答は「20時間」となります。また、育児、介護について、対象者がいない場合は、「対象者なし」に○を付けてください。

◇【家事】は「7時間以上21時間未満」が5割弱

問89	1週間の生活の中で、家事・育児・介護におおよそどの程度の時間を費やしたかお答えください。	
	【家事】	n=404
1	0時間以上7時間未満	21.3%
2	7時間以上21時間未満	47.3%
3	21時間以上35時間未満	15.8%
4	35時間以上49時間未満	4.0%
5	49時間以上70時間未満	0.5%
6	70時間以上	0.7%
	(無回答)	10.4%

<図IV-27-1>全体

【家事】※無回答を除く



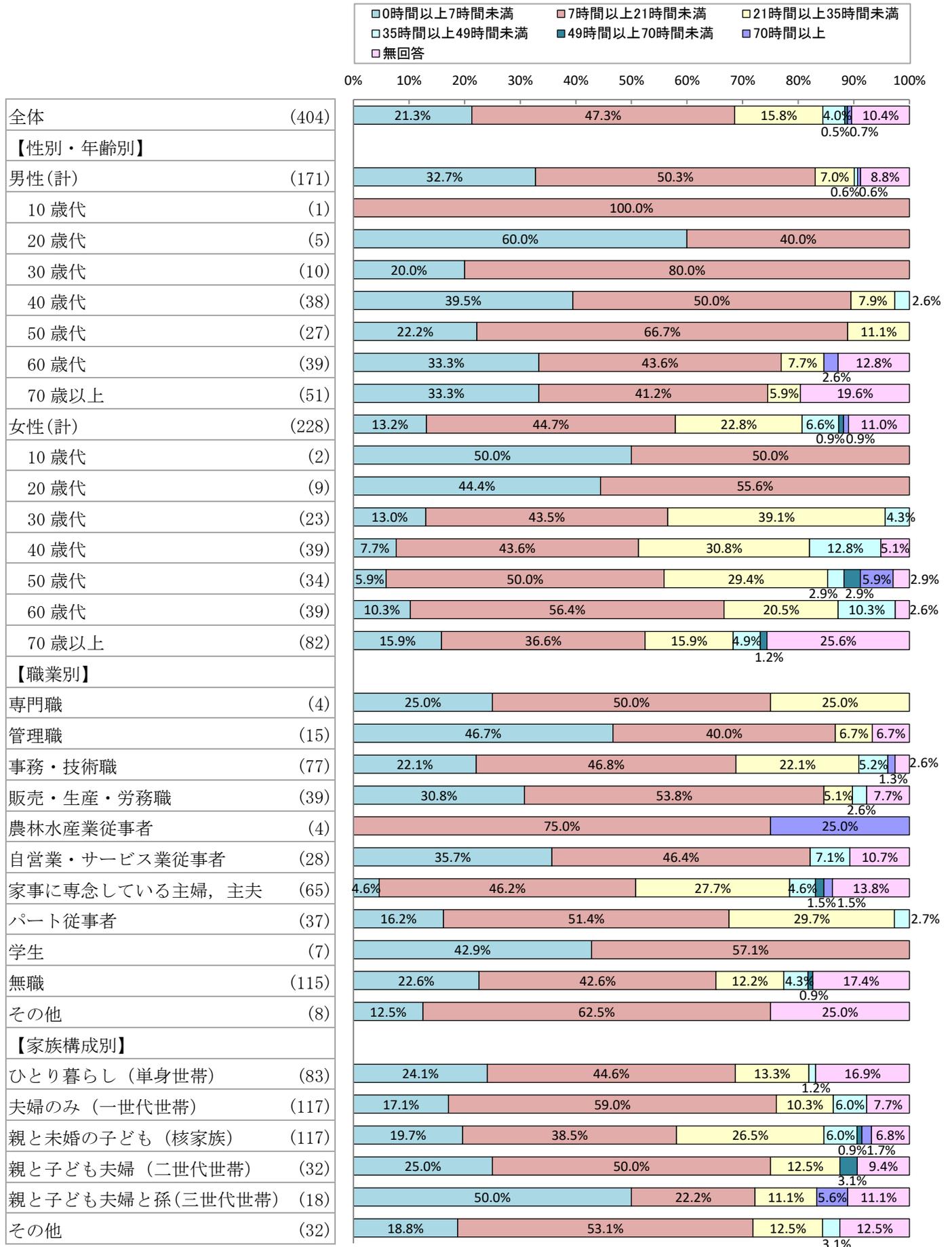
家事に費やした時間については、「7時間以上21時間未満」が47.3%で最も高く、次いで「0時間以上7時間未満」が21.3%、「21時間以上35時間未満」が15.8%であった。(図IV-27-1)

<参考>

性別・年齢別で見ると、「21時間以上35時間未満」と「35時間以上49時間未満」と「49時間以上70時間未満」と「70時間以上」を合わせた【21時間以上(計)】の割合は、男性で30歳代が0.0%、40歳代が10.5%、50歳代が11.1%であったのに対し、女性では、30歳代が43.4%、40歳代が48.7%、50歳代が44.0%であった。(図IV-27-2)

職業別で見ると、「家事に専念している主婦、主夫」で【21時間以上(計)】の割合が49.1%と高くなっており、また、家族構成別で見ると、「親と未婚の子ども(核家族)」で【21時間以上(計)】の割合が41.9%と最も高くなった。(図IV-27-2)

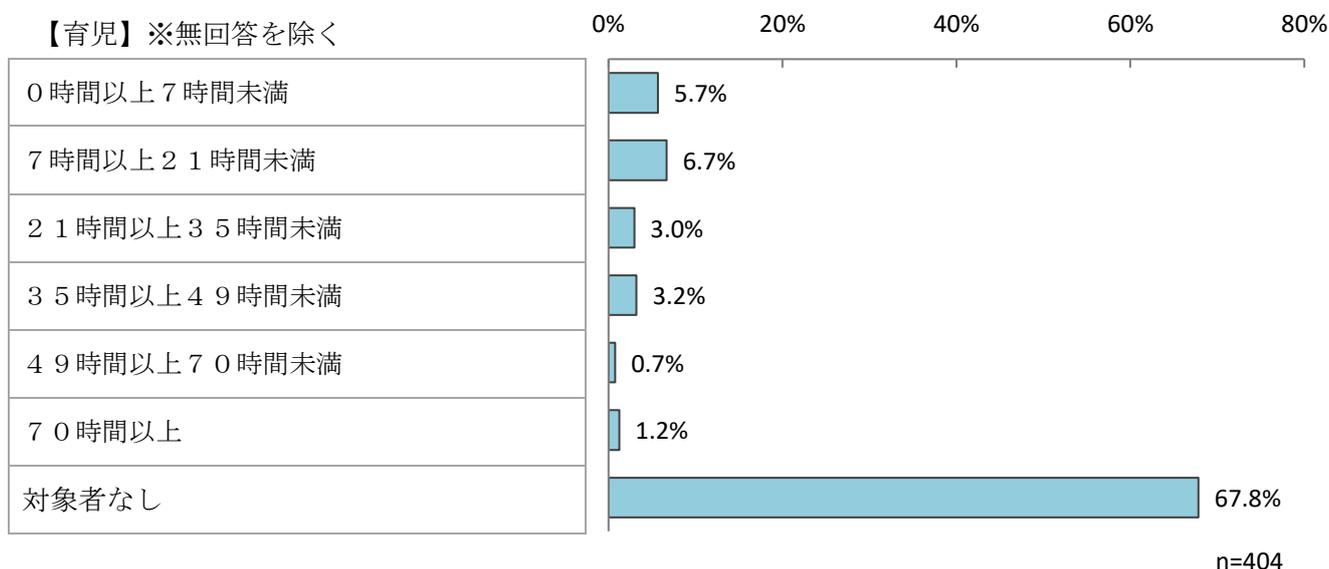
<図IV-27-2>性別・年齢別／職業別／家族構成別



◇ 【育児】は「7時間以上21時間未満」が約2割（「対象者なし」を除く）

【育児】		n=404
1	0時間以上7時間未満	5.7%
2	7時間以上21時間未満	6.7%
3	21時間以上35時間未満	3.0%
4	35時間以上49時間未満	3.2%
5	49時間以上70時間未満	0.7%
6	70時間以上	1.2%
7	対象者なし (無回答)	67.8% 11.6%

<図IV-27-3>全体



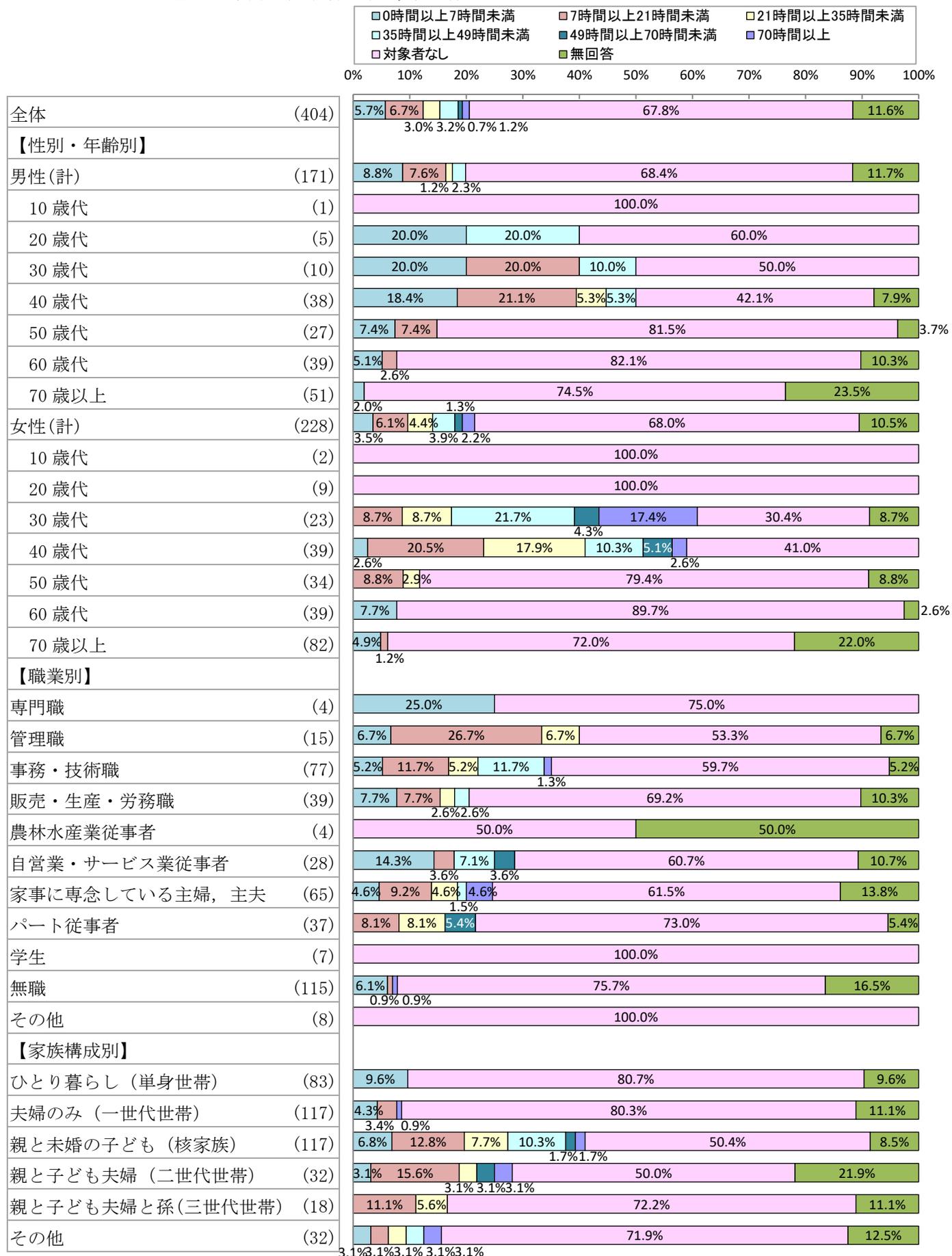
育児に費やした時間については、「対象者なし」を除くと、「7時間以上21時間未満」が6.7%で最も高く、次いで「0時間以上7時間未満」が5.7%であった。(図IV-27-3)

<参考>

年齢別で見ると、30歳代と40歳代において、「7時間以上21時間未満」と「21時間以上35時間未満」と「35時間以上49時間未満」と「49時間以上70時間未満」と「70時間以上」を合わせた【7時間以上(計)】の割合が高くなっており、性別で見ると「21時間以上35時間未満」と「35時間以上49時間未満」と「49時間以上70時間未満」と「70時間以上」を合わせた【21時間以上(計)】の割合について、男性で30歳代が10.0%、40歳代で10.6%であったのに対し、女性では、30歳代が52.1%、40歳代が35.9%であった。(図IV-27-4)

家族構成別で見ると、「親と未婚の子ども(核家族)」において、【21時間以上(計)】の割合が21.4%であり、次いで「親と子ども夫婦(二世帯世帯)」の9.3%、「親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)」の5.6%となっている。(図IV-27-4)

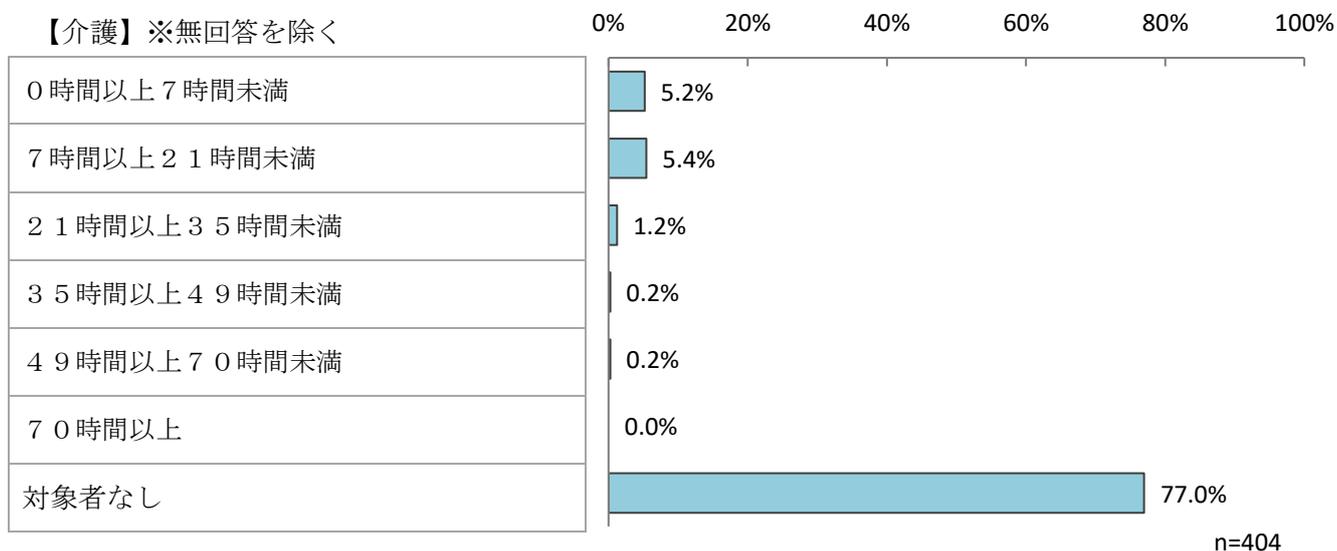
<図Ⅳ-27-4>性別・年齢別／職業別／家族構成別



◇ 【介護】は「7時間以上21時間未満」が2割半ば（「対象者なし」を除く）

【介護】		n=404
1	0時間以上7時間未満	5.2%
2	7時間以上21時間未満	5.4%
3	21時間以上35時間未満	1.2%
4	35時間以上49時間未満	0.2%
5	49時間以上70時間未満	0.2%
6	70時間以上	0.0%
7	対象者なし (無回答)	77.0% 10.6%

<図IV-27-5>全体



介護に費やした時間については、「対象者なし」を除くと、「7時間以上21時間未満」が5.4%、「0時間以上7時間未満」が5.2%であった。（図IV-27-5）

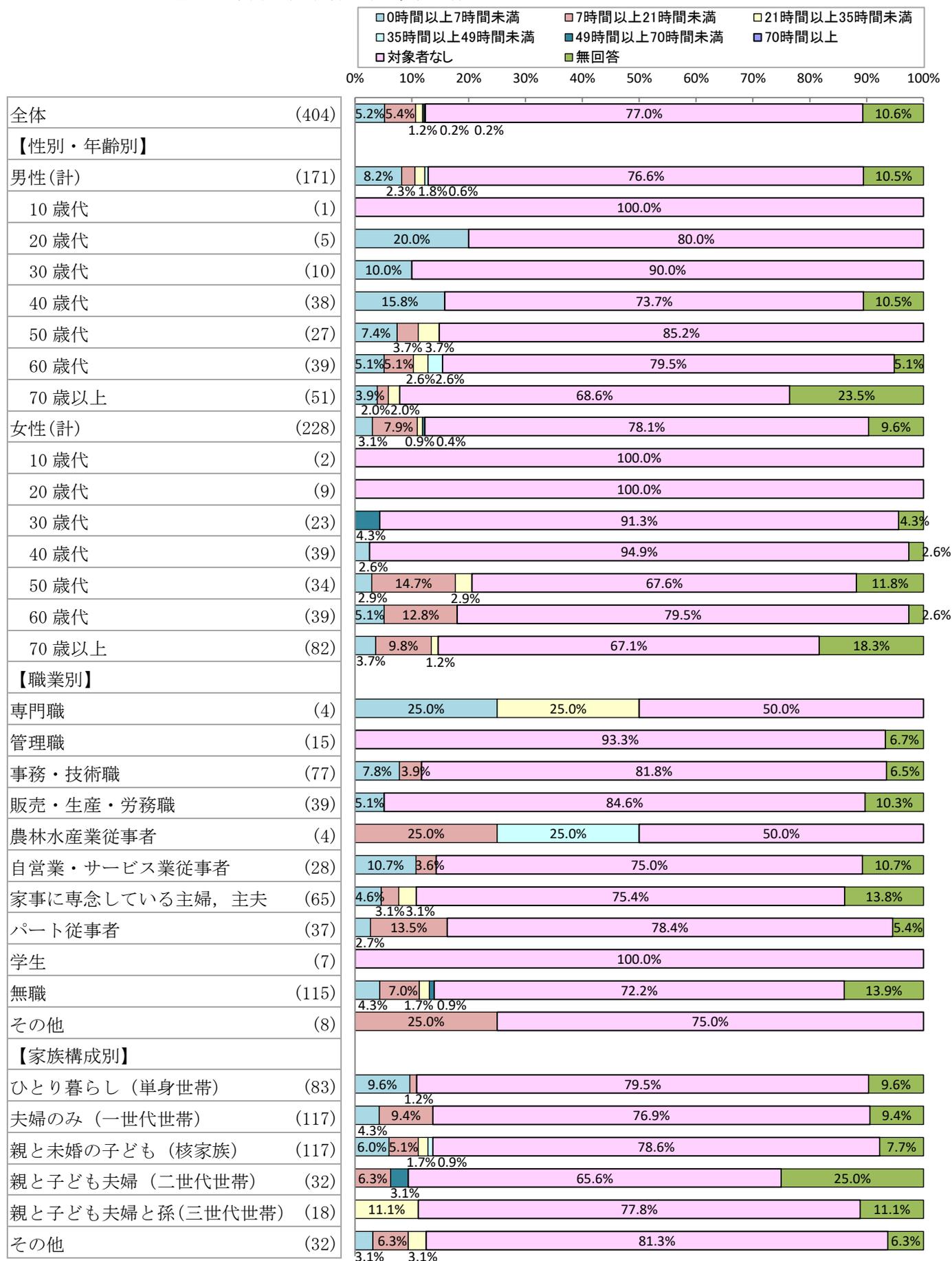
<参考>

性別・年齢別でみると、「7時間以上21時間未満」は<女性/50歳代>が14.7%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が12.8%であった。（図IV-27-6）

職業別でみると、「7時間以上21時間未満」は<その他>を除くと、<農林水産業従事者>が25.0%、<パート従事者>が13.5%であった。（図IV-27-6）

家族構成別でみると、「7時間以上21時間未満」は<その他>を除くと、<夫婦のみ（一世代世帯）>が9.4%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦（二世代世帯）>が6.3%であった。（図IV-27-6）

<図Ⅳ-27-6>性別・年齢別／職業別／家族構成別

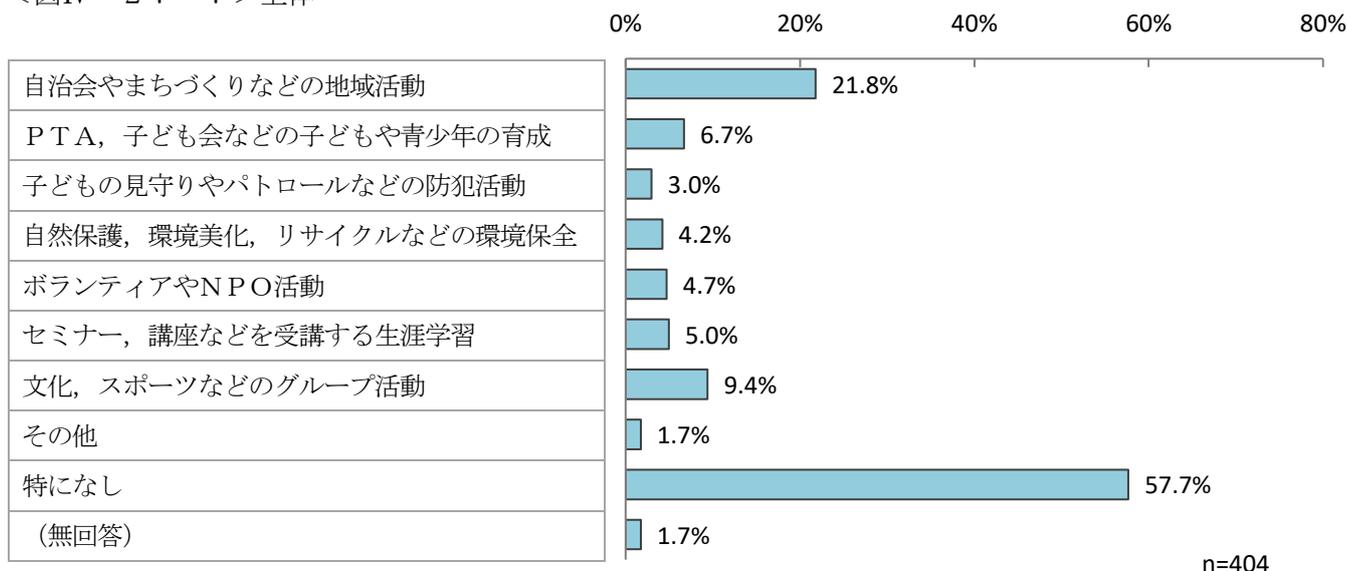


(2) 社会的な活動の実施状況

◇ 「特になし」が6割弱

問90	現在、地域などで社会的な活動を行なっていますか。	(〇はいくつでも)
		n=404
1	自治会やまちづくりなどの地域活動	21.8%
2	P T A, 子ども会などの子どもや青少年の育成	6.7%
3	子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動	3.0%
4	自然保護, 環境美化, リサイクルなどの環境保全	4.2%
5	ボランティアやN P O活動	4.7%
6	セミナー, 講座などを受講する生涯学習	5.0%
7	文化, スポーツなどのグループ活動	9.4%
8	その他	1.7%
9	特になし	57.7%
	(無回答)	1.7%

<図IV-27-7>全体



社会的な活動を行っているかについては、「特になし」が 57.7%であった。社会的な活動を行っている中では、「自治会やまちづくりなどの地域活動」が 21.8%で最も高く、次いで「文化、スポーツなどのグループ活動」が 9.4%と続いている。(図IV-27-7)

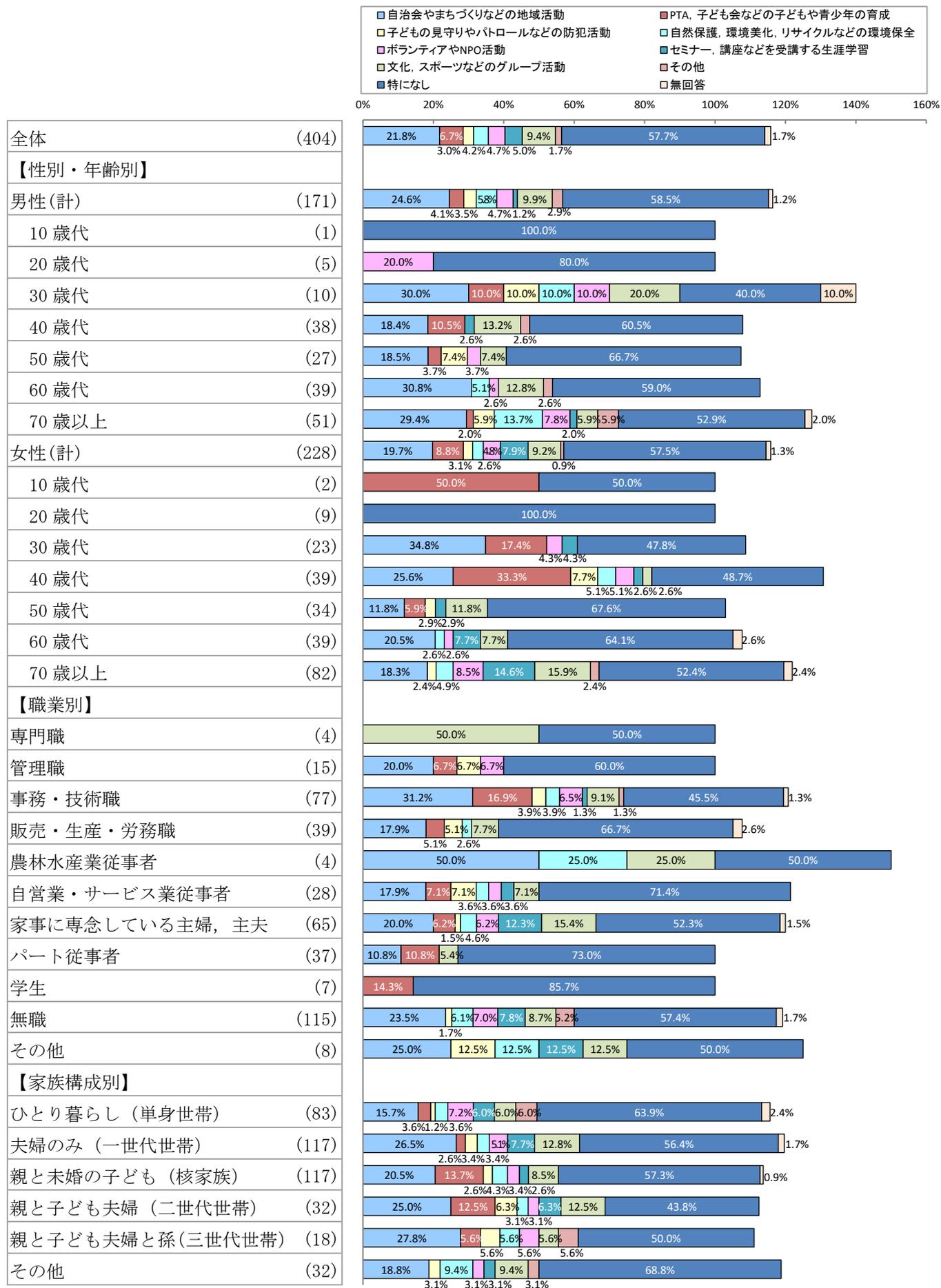
<参考>

性別・年齢別でみると、「特になし」は<男性/10歳代><女性/20歳代>が 100.0%、<男性/20歳代>が 80.0%であった。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<女性/30歳代>が 34.8%、<男性/60歳代>が 30.8%、<男性/70歳以上>が 29.4%であった。(図IV-27-8)

職業別でみると、「特になし」は<学生>が 85.7%、<パート従事者>が 73.0%であった。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<農林水産業従事者>が 50.0%、<事務・技術職>が 31.2%であった。(図IV-27-8)

家族構成別でみると、「特になし」は<その他>を除くと、<ひとり暮らし(単身世帯)>が 63.9%、親と未婚の子ども(核家族)>が 57.3%であった。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が 27.8%、<夫婦のみ(一世代世帯)>が 26.5%であった。(図IV-27-8)

<図Ⅳ－２７－８>性別・年齢別／職業別／家族構成別



(3) 配偶者からの暴力を受けた経験

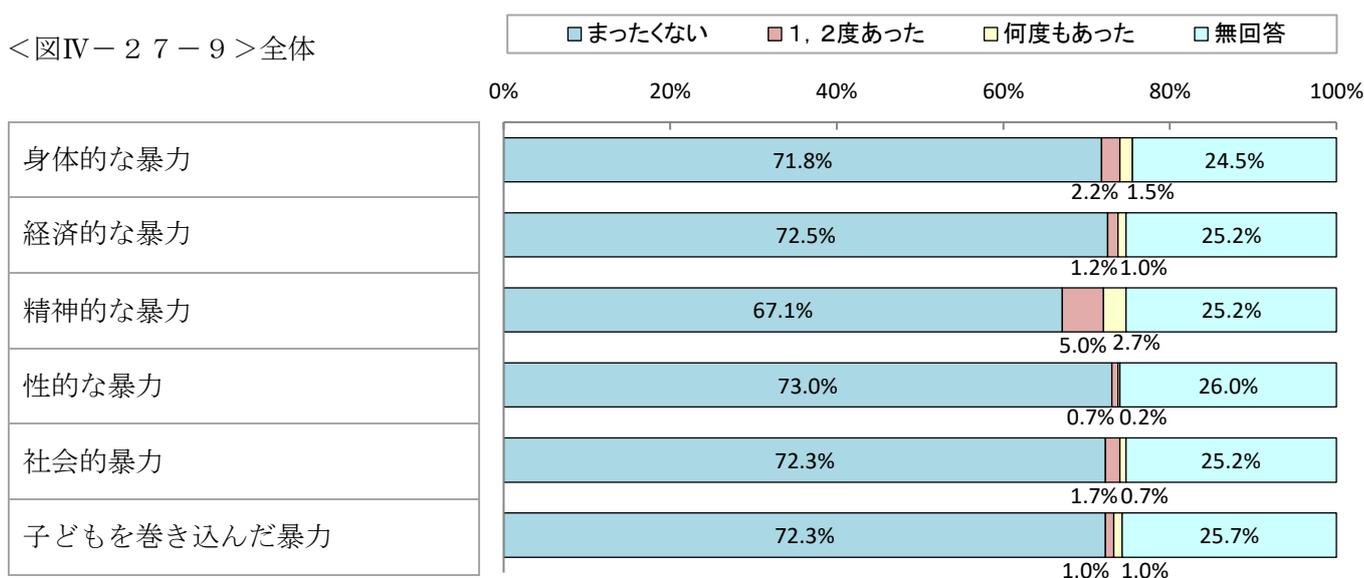
◇ 「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり(計)】は, 「精神的な暴力」が1割弱

問9 1 過去1年間に配偶者から次のような暴力を受けたことがありますか。
(それぞれ項目ごとに○は1つ)

n=404

	項目	まったく ない	1, 2度 あった	何度も あった	無回答
1	身体的な暴力(殴る・蹴る・つねる・髪を引っ張る・物を投げつけるなど)	71.8%	2.2%	1.5%	24.5%
2	経済的な暴力(生活費を渡さない・給料や貯金を勝手に使われる・仕事をさせないなど)	72.5%	1.2%	1.0%	25.2%
3	精神的な暴力(言葉や態度で侮辱する・どなったり脅したりする・何を言っても無視する・別れるなら死ぬ, 又は殺すと言うなど)	67.1%	5.0%	2.7%	25.2%
4	性的な暴力(性行為を強要する・避妊に協力しない・無理やりアダルト動画を見せる・中絶を強要するなど)	73.0%	0.7%	0.2%	26.0%
5	社会的暴力(実家や友人との付き合いを制限する・携帯電話や郵便物を勝手に見る・外出を制限する・行動を監視するなど)	72.3%	1.7%	0.7%	25.2%
6	子どもを巻き込んだ暴力(子どもの前で「バカだ」「親の資格がない」などと非難する・「子どもに危害を加える」と言って脅すなど)	72.3%	1.0%	1.0%	25.7%

<図IV-27-9>全体



n=404

過去1年間に配偶者からの暴力を受けた経験については、「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり(計)】の割合は、「精神的な暴力」が7.7%で最も高く、次いで「身体的な暴力」が3.7%、「社会的暴力」が2.4%、「経済的な暴力」が2.2%であった。(図IV-27-9)

<参考>

さらに暴力の種類ごとに性別・年齢別でみると【経験あり(計)】が最も多かったのは、「精神的な暴力」で<女性/40歳代>が20.6%で最も高く、「身体的な暴力」は<男性/40歳代>が7.9%、「社会的暴力」は、<男性/40歳代>と<女性/60歳代>が5.2%、「経済的な暴力」は<女性/50歳代>が5.8%であった。(図IV-27-10～図IV-27-15)

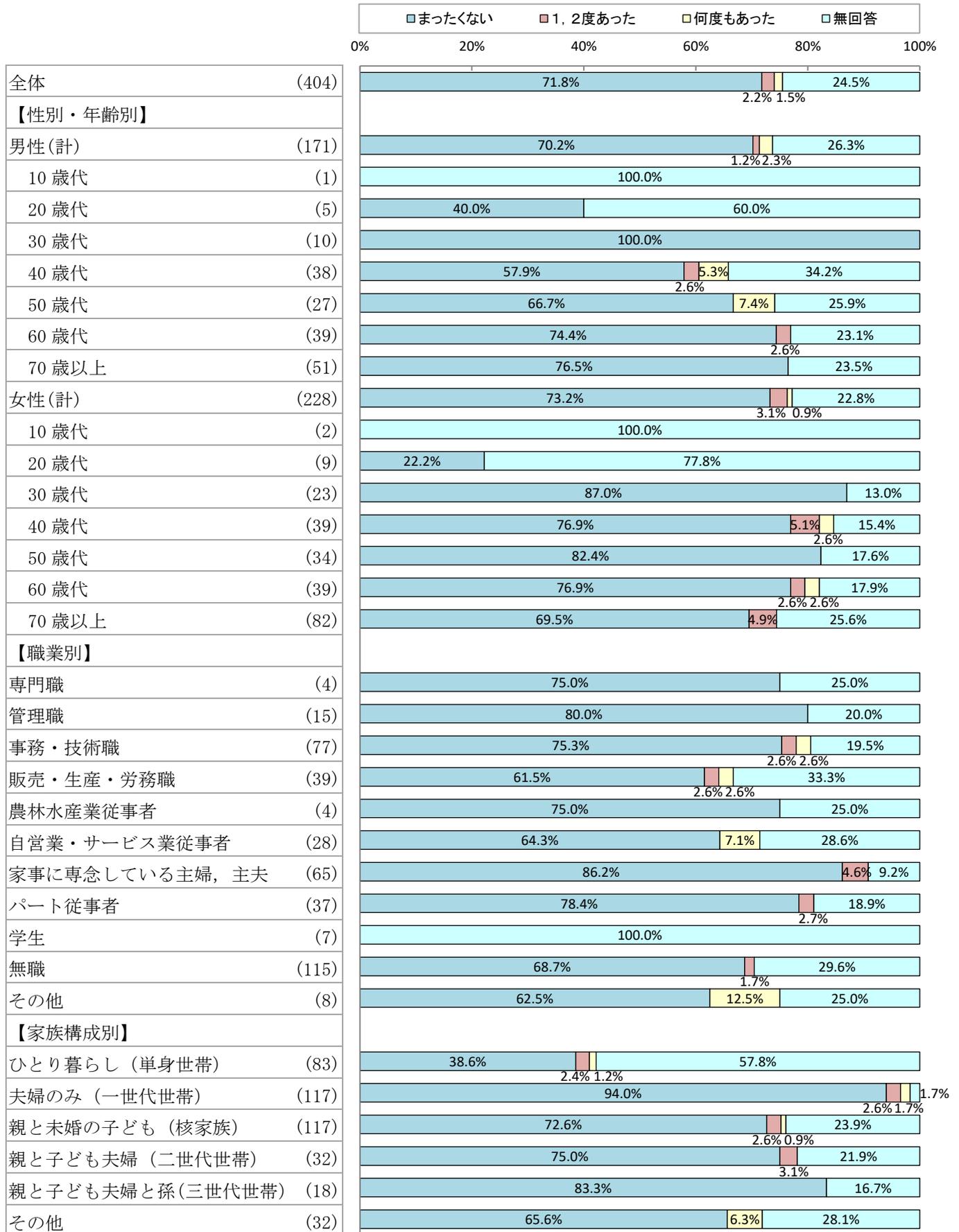
暴力を受けたことがある(総合)について性別でみると、【経験あり(計)】は<女性>が3.9%、<男性>が2.4%で<女性>が高かった。性別・年齢別でみると、【経験あり(計)】は<女性/40歳代>が7.3%で最も高かった。(図IV-27-16 総合)

暴力を受けたことがある(総合)について職業別でみると、【経験あり(計)】は<その他>を除くと、<販売・生産・労務職>が4.7%で最も高かった。(図IV-27-16 総合)

暴力を受けたことがある(総合)について家族構成別でみると、【経験あり(計)】は<その他>を除くと、<夫婦のみ(一世代世帯)>が3.9%で最も高かった。(図IV-27-16 総合)

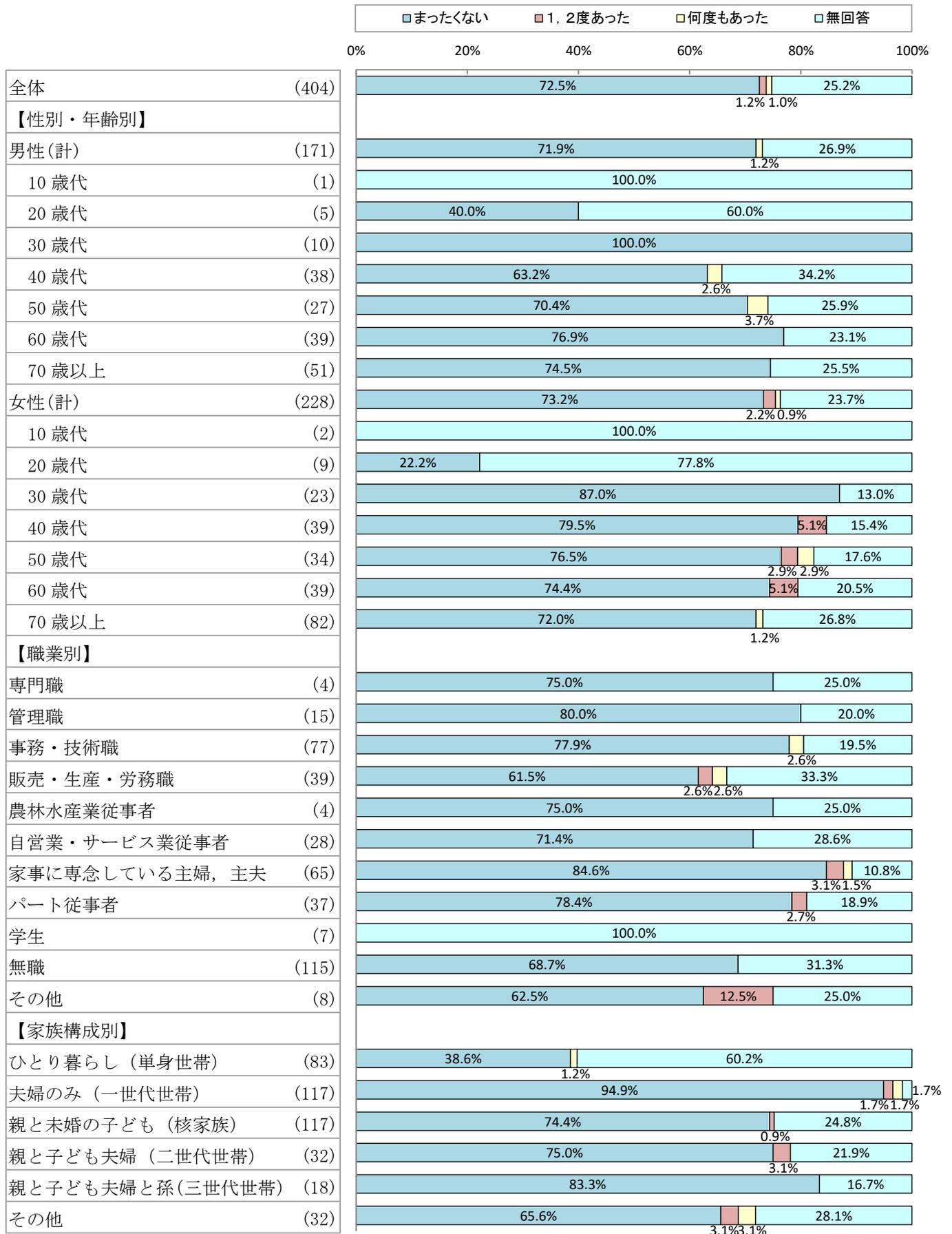
①身体的な暴力

<図Ⅳ-27-10>性別・年齢別／職業別／家族構成別



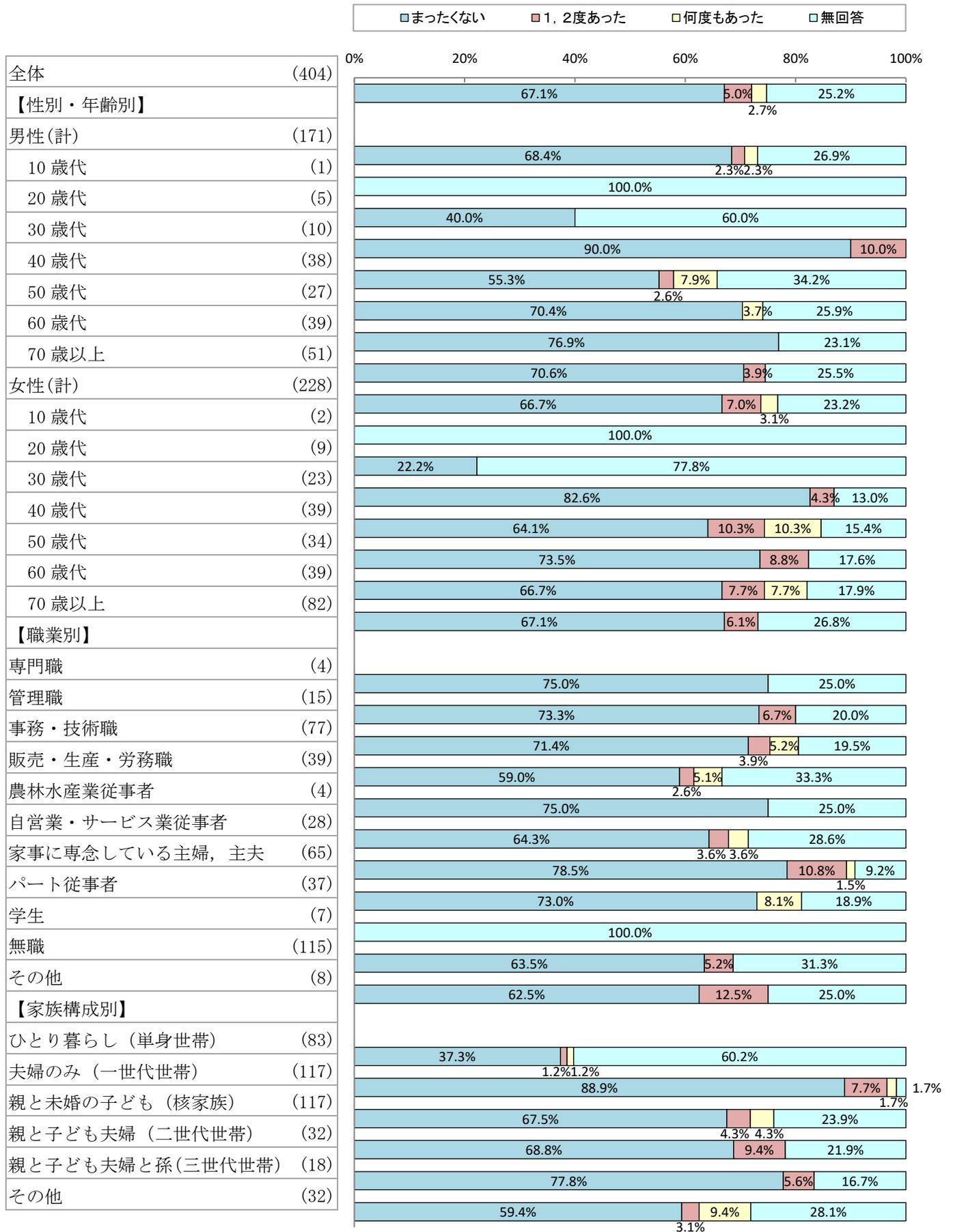
②経済的な暴力

<図Ⅳ－２７－１１>性別・年齢別／職業別／家族構成別



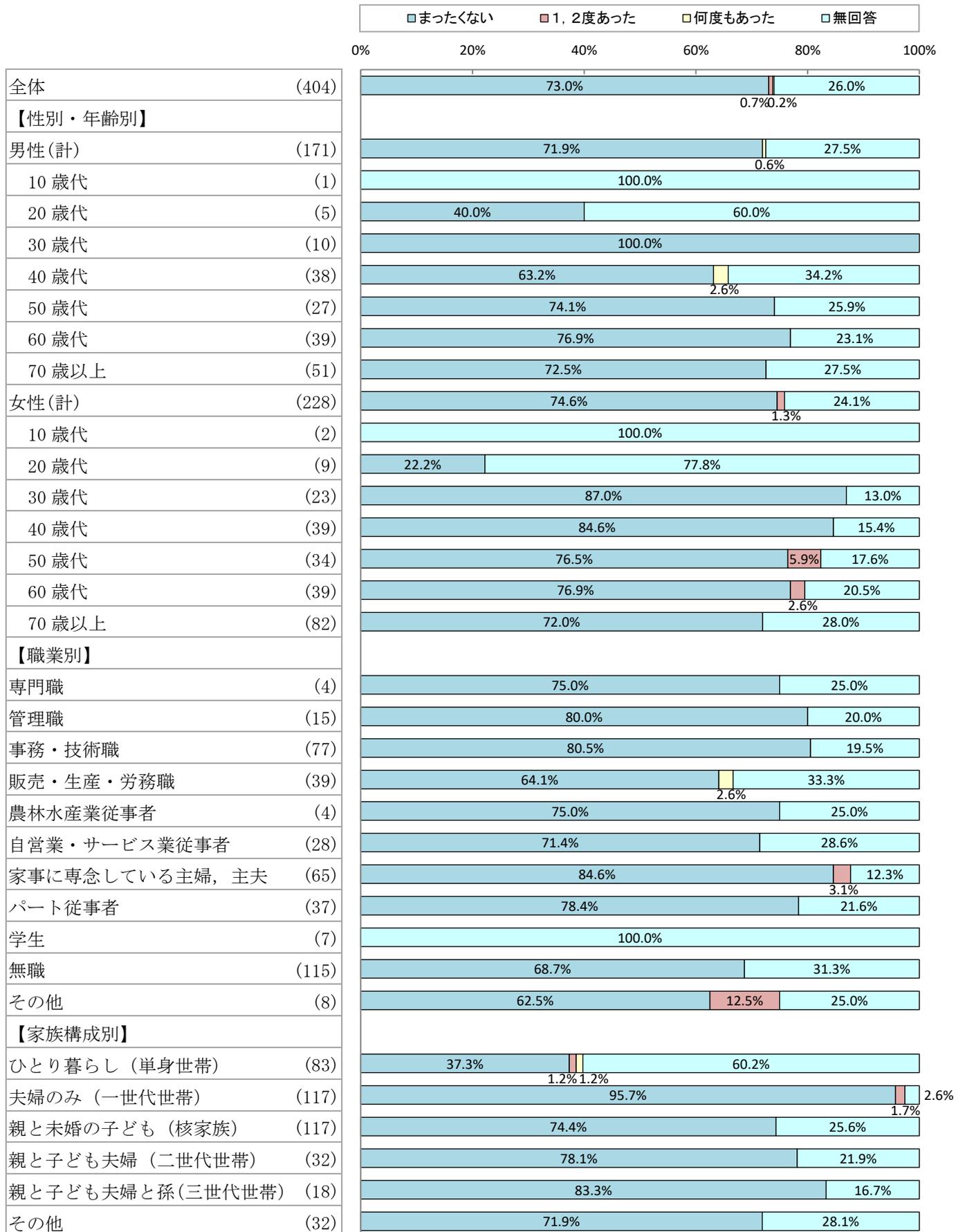
③精神的な暴力

<図Ⅳ－２７－１２>性別・年齢別／職業別／家族構成別



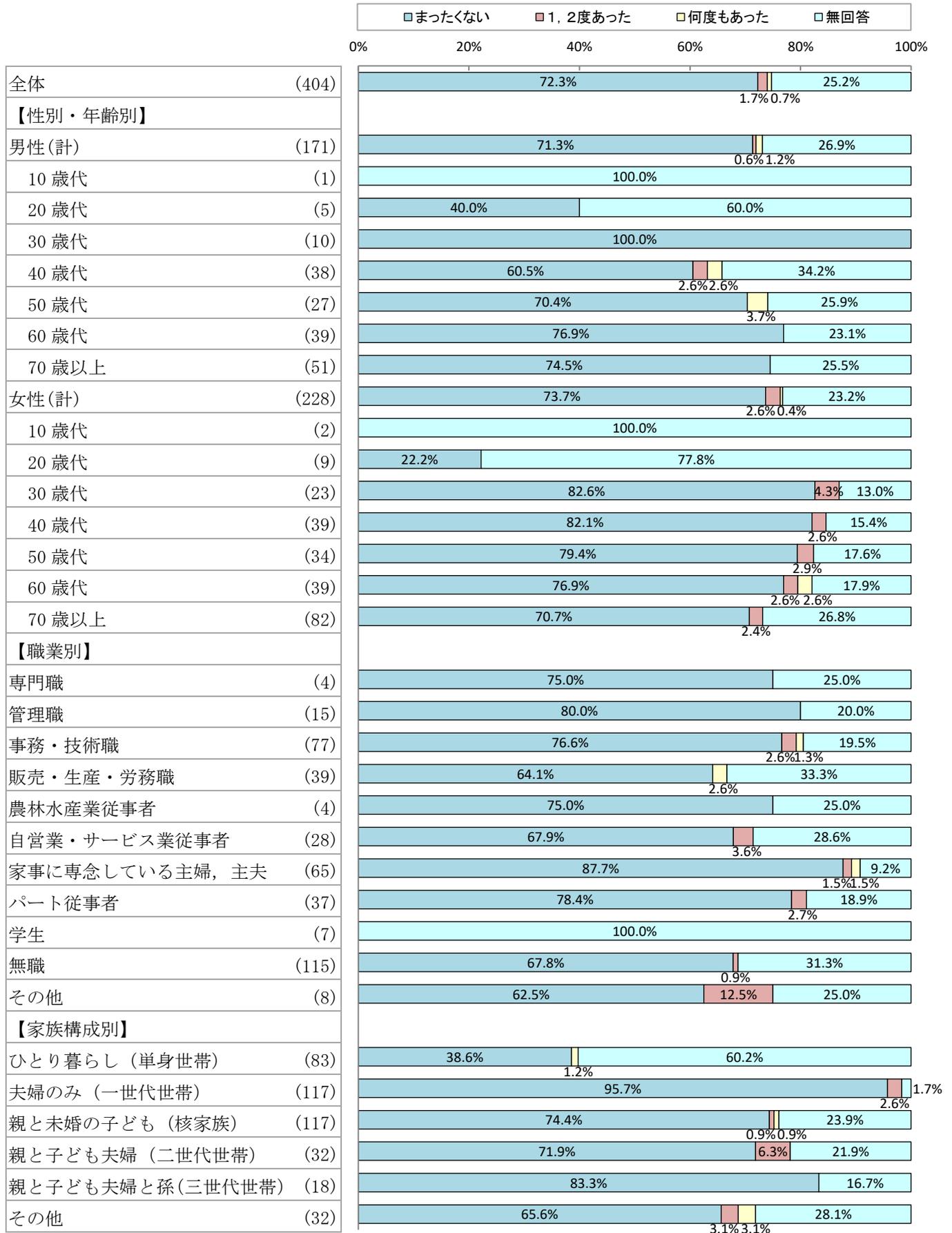
④性的な暴力

<図Ⅳ-27-13>性別・年齢別／職業別／家族構成別



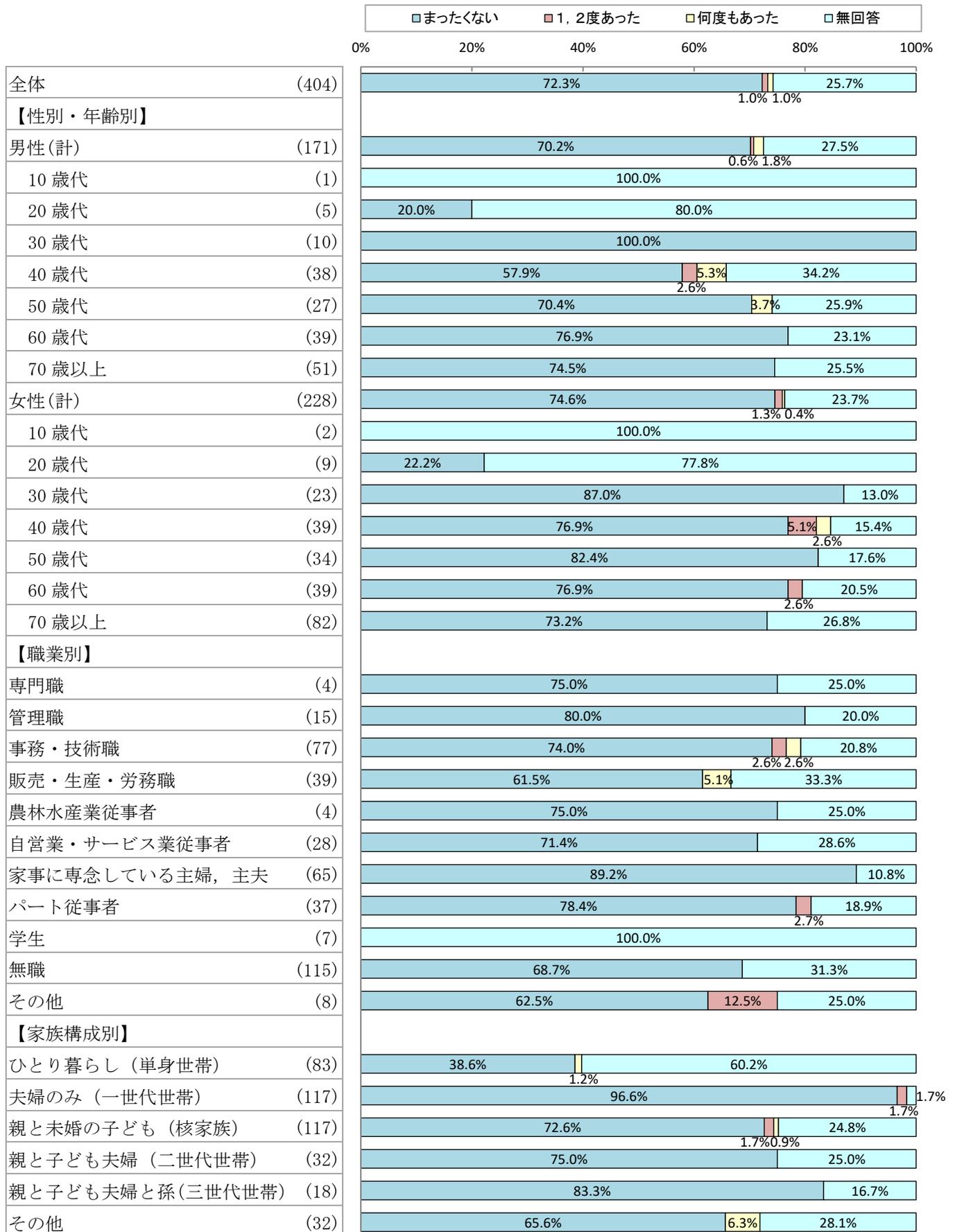
⑤社会的暴力

<図Ⅳ-27-14>性別・年齢別／職業別／家族構成別



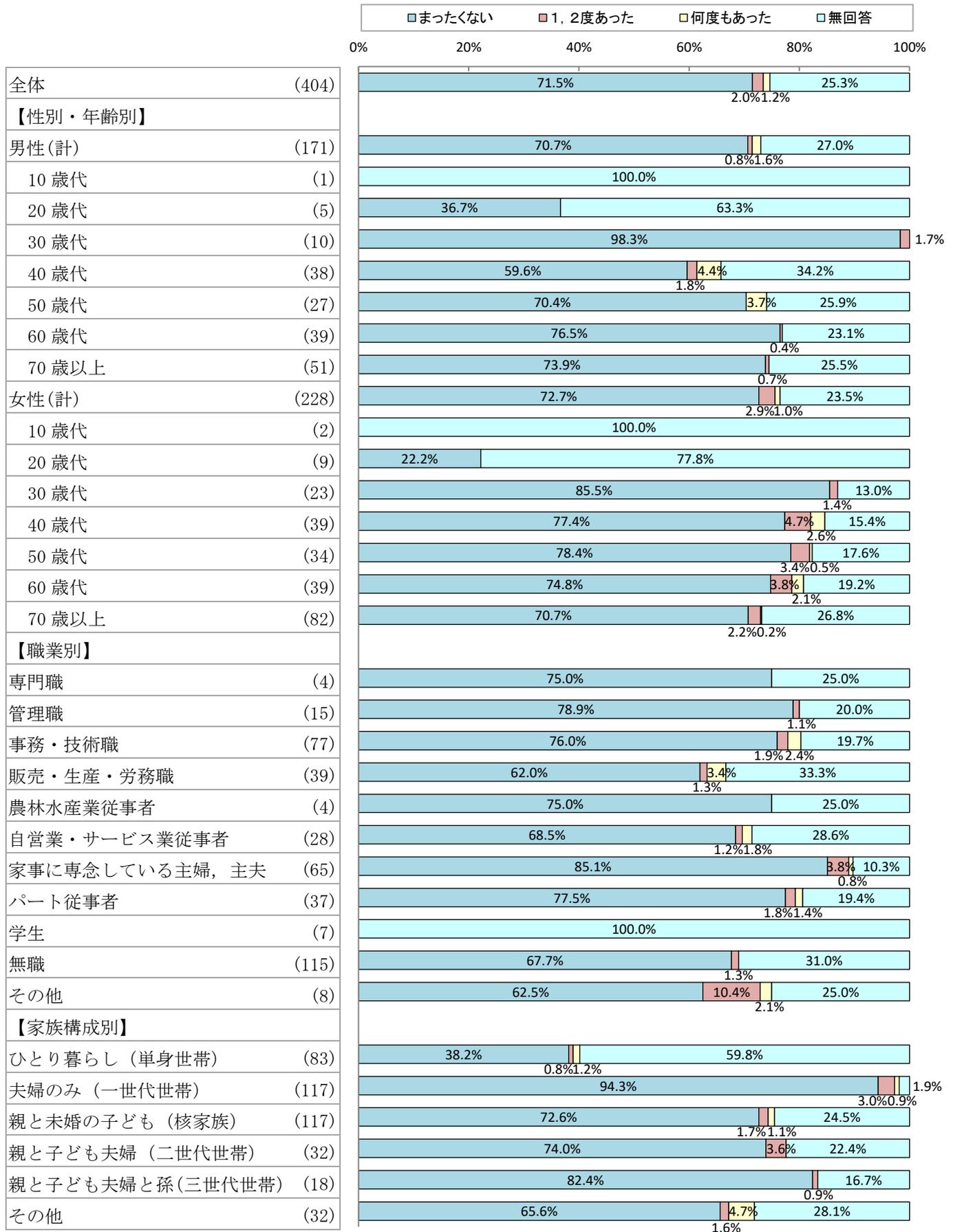
⑥子どもを巻き込んだ暴力

<図Ⅳ-27-15>性別・年齢別／職業別／家族構成別



⑦総合

<図Ⅳ-27-16>性別・年齢別／職業別／家族構成別



(4) LGBTQ (エルジービーティーキュー) の認知度

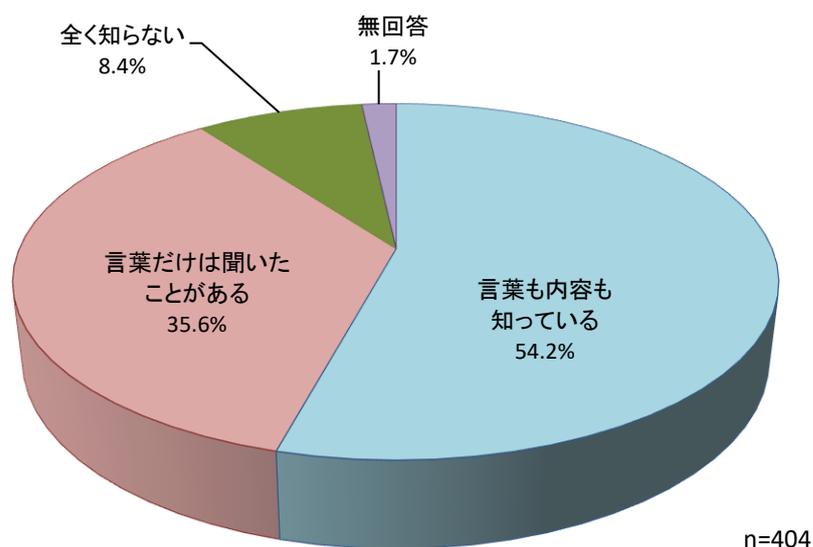
◇ 「言葉も内容も知っている」が5割半ば

問92 LGBTQ (エルジービーティーキュー) ※という言葉について聞いたことがありますか。
 ※L (レズビアン・女性同性愛者), G (ゲイ・男性同性愛者), B (バイセクシャル・両性愛者),
 T (トランスジェンダー・からだところの性が一致せず, 性別に違和感を覚える人), Q (クエ
 ストニング・性自認や性的指向が明確ではない人、探している人、決めかねている人/クイア・
 LGBTQに当てはまらない性的マイノリティや性的マイノリティを広範的に包括する概念) の
 5つの単語の頭文字をとった言葉で, 性的マイノリティ (性的少数者) を表す総称のひとつ
 (○は1つ)

n=404

1	言葉も内容も知っている	54.2%
2	言葉だけは聞いたことがある	35.6%
3	全く知らない	8.4%
	(無回答)	1.7%

<図IV-27-17>全体



LGBTQ (エルジービーティーキュー) の認知度については、「言葉も内容も知っている」が 54.2%で最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」が 35.6%、「全く知らない」が 8.4%であった。

(図IV-27-17)

<参考>

性別・年齢別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<男性/10歳代><女性/10歳代>が 100.0%、<女性/20歳代>が 88.9%であった。「言葉だけは聞いたことがある」は<男性/20歳代>が 60.0%、<女性/70歳以上>が 51.2%であった。(図IV-27-18)

職業別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<専門職><学生>が 100.0%、<事務・技術職>が 80.5%であった。「言葉だけは聞いたことがある」は<自営業・サービス業従事者>が 50.0%、<パート従事者>が 48.6%であった。(図IV-27-18)

家族構成別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<親と未婚の子ども(核家族)>が 66.7%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が 53.1%であった。「言葉だけは聞いたことがある」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が 44.4%で最も高く、次いで<ひとり暮らし(単身世帯)>が 41.0%であった。(図IV-27-18)

<図Ⅳ－２７－１８>性別・年齢別／職業別／家族構成別

